

# 東京市郊外道路の改良概況

高 澤 義 智



輓近東京市郊外町村の急激なる發展に伴ひて道路の交通量頓に増加し、爲に在來の道路は其の規格に於て、將又其の構造に於て之が改良整備は一日も忽にすべからざる最大急務となつたので、東京府に於ては夙に右の情勢に鑑みて之に順應する爲多年繼續的に毎年度五十萬圓程度の豫算を以て局部的に幅員の擴張、勾配の緩和及屈曲の矯正等に努めて來たけれども、未だ十分でないので大正七年頃より管内の幹線道路にして、併せて我國交通幹線の一部たる四國

## 一 都市計畫第一期事業

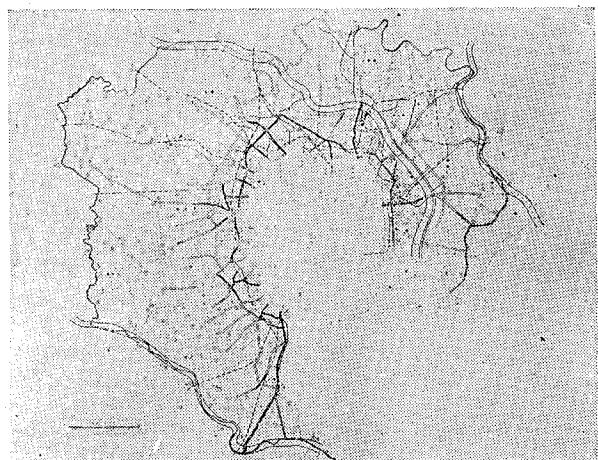
大正十年五月内務大臣に於て、内閣の認可を受けたる東京都市計畫事業の内、府知事を事業執行者と指定せられたる道路の改修は、所謂環状線及放射

線と稱するもので、環状線に在りては路線數十一にして、荏原郡品川町

を起點とし、大崎・目黒・澁谷・千駄ヶ谷・淀橋・大久保・戸塚・高田・西巢

鴨・王子・瀧野川・尾久・日暮里・三河島・南千住・寺島・吾嬬・龜戸・大島の各隣接町を経て、砂町に至る延長約

三一、七四一メートルを幅員十二間に改修するもので、此の如き統一する環状道の築設は、我國都市は勿論世界各國の都市にも、其の例を求める難いとさへ云はれてゐる。又放射線に在りては路線數二十三にして、東京を中心として各方面に放射する國道及主要府縣道の延長約三一、四二三メー



第一圖 東京都市計畫道路圖

いづれも府下の交通幹線である。野毛道・甲州街道・青梅街道・清戸道・岩槻街道・大師道等であつて、

本事業は總工費五千七百八十七萬餘圓を以て、大正十年度より昭和七年度に至る繼續事業として、目下銳意執行中であるが、工事の完

成したる區間の延長は、環状線約二〇、三七四メートル、放射線約一三メートルであつて、總延長の約五割一分に相當し、目下着手中の延長は一一、六三一メートルであ

る。是等の道路はいづれも歩車道を區別して路面を鋪裝し、以て近代的都市交通の發達に適應せんとする次第であ

る。尙本事業の完成も兩三年後に迫つてをるが、市の外廓に於て隣接町村を互に拘聯し、各放射道路を連絡する環状道路は、從來最も其の必要を痛感せられしもので、之が完成の暁は正に市近郊の交通系統を一變せしむるものあるべく、又放射道路に在りても、都鄙の交通を著しく發達せしむるものあるべきは、既成區間の利用狀況に付て見るも顯著なる事實である。

## 二 都市計畫第一期事業

前記第一期事業路線は、市部に近接せる地域に限られ、都市計畫区域内全般に亘りたるものでないのみならず、大正十二年の大震火災後、郊外の急激なる發展の趨勢に照し既定計畫事業の遂行のみにては、到底交通の激増に應ずることが不可能なるを感知したる折柄、昭和二年八月都市計畫区域内全般に亘る主要道路の新設改修計畫を確立せられたのであるが、此の計畫中郊外の部に付て述べれば、都心と外部地方との交通を圓滑ならしむるを主眼とする幹線放

射道路十六線、延長約百三十三キロメートル（約三十四里）を、幅員二十二メートル乃至二十五メートルに改修するものと、放射道路を連結して各地方の交通を利便ならしむるを目的とする幹線環狀道路三線、延長約百十三キロメートル（約二十九里）を幅員二十二メートル乃至二十五メートルに改修するものと、其の他に局部的交通の利便を圖るを目的とする補助線道路百七線、延長約三百八十五キロメートル（約九十八里）を幅員十一メートル乃至二十五メートルに改修するものとの三種の道路改良網が、各種の運輸交通の實況と將來に於ける都市内外の發達の趨勢とを稽へて組成せられたので、本府に於ても之を機とし、其の内最も施行の緊急を要すと認めたる路線を選定し、これが新設又は改築に要する費用を議決したので、當該路線の事業執行者を府知事と指定せられたのである。即ち幹線放射道路は十五線にして、延長約六三・一七一メートルを幅員二十五メートルに改修するもので、その中には都市計畫第一期事業又は國道改修工事として改修したる箇所に引續きて延長

改修するものも少くない。主要なるのを擧ぐれば下野毛、舊堤上を隅田町に至るもの(二)大森町美原地先京濱國道よ  
道・中原街道・甲州街道・陸羽街道・川  
戸道・中仙道・岩瀬街道・陸羽街道・清  
越街道・四ツ木街道・浦安街道等之  
に屬する。幹線環狀道路は四線にし  
て、延長約二〇・七七八メートルを、  
幅員二十二メートル乃至二十五メー  
トルに改修するもので、第一期事業  
の如く各路線は直接に連絡はしない  
けれども、第一期環狀道路の外周に  
於て、約一哩半乃至二哩づゝの間隔  
を以て、設定せられた路線中地方開  
発の情況上、改修を必要とする區間  
を選定したもので、(一)濱谷町八幡  
通より代々幡町・淀橋町・中野町・落  
合町・長崎町を経て板橋町下板橋に  
至るもの(二)千住町字河原町地先陸羽街道より分岐し荒川



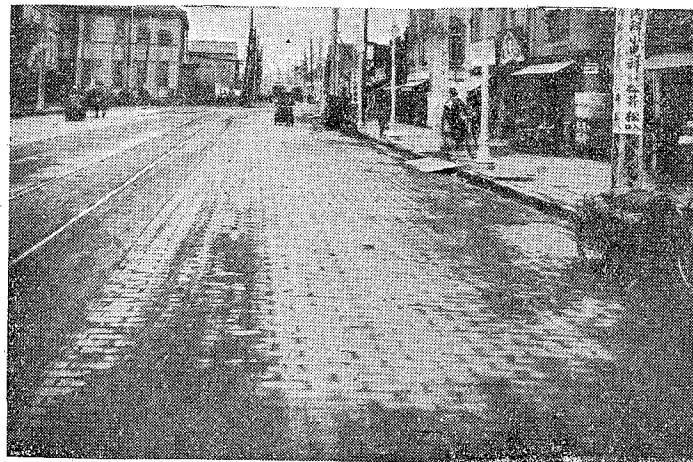
第二圖 県道下目黒世田ヶ谷線  
(む望を面方谷ケ田世りよ前局便郵町黒目)

町馬込に至る區間及板橋町下板  
橋より岩淵町神谷に至る區間の  
ものとの三である。補助線道路  
は三十一線延長約六〇、九三四  
メートルを幅員十一メートル乃  
至二十二メートルに改修するも  
ので、放射線と環狀線との兩様  
の使命を有するものである。主  
要なるものとしては平間街道・  
清戸道・黒駒道等之に屬する。  
今是等の道路を其の目的に從  
ひて延長を區別すると、放射道  
路二一七、八二四メートル、環狀  
道路二八、七八〇メートルであ

第一期事業に於ては放射道路に重きを置いたのである。本事業は總工費金八千四百一十八萬二千餘圓を以て昭和二年度より同十二年度に至る繼續事業として、目下執行中であつて、工事の完成した區間の延長は約一、四九六メートルにして、着手中の延長は九、二三五メートルである。

### 三 四国道の改修

從來東京市を中心として、各方面に放射的に設けられ、而かも全國交通の幹線の一たる一號（東海道又は京濱國道）四號（陸羽街道）七號（千葉街道）及九號（中仙道）の四國道は、古來政治上交通の要路であつて、道路の發達は極めて著しきものありしに拘はらず、道路の資本が見えたのである。仍て左に其の概要を述べれば、



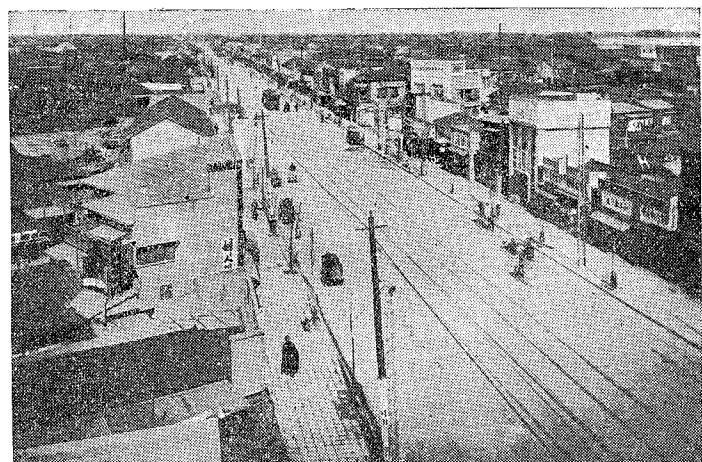
第三圖 放射第 六號 青梅 街道 西局便郵野中（む望を方東りよ西）

り、大都市を中心とする自動車の普及發達顯著なるものがあつて、交通用具の發達幼稚なりして、舊時の規模に晏如たるを許さないので、之が改良の必要を痛感したのである。偶々大正六・七年頃より朝野の間に道路改良の急務を高調せらるゝに至つたので、本府に於ても一號國道の改修に大正七年度より着手したるを初として、引續き他の三國道も順次改修することとし、施行中の萬障を排して、近時に至り

一號國道 本道路は古來東海道又は京濱國道として知られる。府下品川町ハツ山鐵橋より神奈川縣界に至る延長五、八六〇間の區間を幅員十二間に改築し、府縣界多摩川に架す六郷橋架設費を含む工費は金八百二十六萬餘圓で、大正七年度より昭和三年度に至る繼續事業として施行して施工し既に完成した。本道路は實に我國幹線道路の一部で、かの大震火災當時及び先帝崩御の際などに於ては、最も利用價值を認められたのである。

#### 四號國道 本道路は古來陸羽街道

と稱せらる。府下千住町元新開南詰より千住大橋を渡りて荒川放水路右岸堤に至る延長一、〇二八間餘を幅員十二間乃至十二間半に改築し、荒川放水路に架す千住新員十二間乃至十二間半に改築し、荒川放水路に架す千住新



橋及荒川に架す千住大橋の架設費を含む工費は、金三百三十三萬餘圓で大正八年度より昭和三年度に至る繼續事業として施行し既に完成した。

七號國道 本道路は古來千葉街道と稱せらる。府下龜戸町地内都市計畫環状道路より同町九丁目に至る延長七〇五間餘を幅員十二間に改築するもので、工費金百三萬八千餘圓を以て、大正八年度より昭和二年度に至る繼續事業として施行し既に完成した。

#### 九號國道 本道路は古來中仙道

と稱せらる。府下巣鴨市郡界より板橋町舊國道と府縣道東京川越線との交叉點に至る延長一、六二

萬餘圓を以て、大正八年度より昭和五年度に至る繼續事業として施行し、曩に完成した。

以上に述べた都市計畫道路及四國道の改修は、本府に於ける道路改修事業中最も規模の大なるもので、是等の事業は現下交通の需要に應じ、兼て都市の發展を統制し、地方の開發に資すること極めて多大である。橋梁に付ても新設改築を怠らずして、毎年度多額の經費を投じて改良に努めつゝある。今昭和六年度に於ける道路改良費の一班を擧ぐれば左の通である。

科 目	豫算額	内 譯
	國 道 一 府 縣 道	
(年度限) 橋梁架換費	一三、八七〇	四
( ) 路面鋪裝費	四六、三六〇	八、五〇〇
(繼續) 產業道路改良費	一五、三九〇	三、六五
( ) 路面鋪裝費	一七、二九〇	三、五二
( ) 橋梁架設費	一六、六〇〇	六、九〇
( ) 都市計畫道路改修費	五八六、五〇〇	一三、四〇〇
五、三四、五〇〇	五、三四、五〇〇	五、三四、五〇〇

終りに臨み失業救濟事業としての道路工事に付一言すれば、救濟工事に着手したのは昭和四年十二月以降に於て施行する都市計畫道路改修工事であつて、失業者簇出の趨勢に鑑み其の他のものに對しても漸次施行工事の幅を擴大しつゝある。是等の計畫の一般を示せば左の如くである。

年度	事 業 種 類	事 業 費	勞 力 費	使 用 人 員	使 用 人 員	一日 平 均
四	都 市 計 畫 道 路 改 修	一、〇〇四、〇〇〇	一九七、八三三	六六、零六八	六六、零六八	七四、八一
五	都 市 計 畫 道 路 改 修	一、〇〇四、〇〇〇	一九七、八三三	六六、零六八	六六、零六八	七四、八一
同	路 面 鋪 裝 費	一五、〇〇〇	五〇、六三三	一、一六八	一、一六八	一、一六八
計	上(臨時)	一、一〇〇、〇〇〇	二〇〇、七五五	二〇一、〇〇六	二〇一、〇〇六	二〇一、〇〇六
七	五、三五、三一	一、一〇〇、〇〇〇	二〇一、〇〇六	二〇一、〇〇六	二〇一、〇〇六	二〇一、〇〇六

右工事中都市計畫道路工事は殆んど全部を直營とするも、其他の工事に在りては請負に付して施行しつゝあり。